



東広島市ゼロカーボンシティ宣言

～「やさしい未来都市 東広島」の実現に向けて～



近年、豪雨や猛暑をはじめとした極端な気象が増加するなど、気候変動の影響が世界規模で現れています。

本市においても、平成30年7月豪雨災害では、生活、社会、経済に多大な被害が発生しました。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇を2℃未満とし、1.5℃に抑える努力をする」ことが世界全体の長期目標とされています。

国においては、令和2年10月、「2050年カーボンニュートラル」を宣言されて以降、「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」の策定や、「地球温暖化対策推進法」の改正、「地域脱炭素ロードマップ」の策定など、「経済と環境の好循環」を目指し、地域の成長戦略ともなる脱炭素化に政策を総動員して取り組むとされています。

この2050年カーボンニュートラルを達成するためには、本市においても市民の皆様、事業者の皆様、市が協働して取り組むことが必要不可欠です。

東広島市では、「第2次東広島市環境基本計画」において、「2050年の望ましい将来像」として脱炭素化の実現と省エネルギー・脱炭素社会への転換を明記しました。

誰一人取り残さない持続可能な社会を目指す「SDGs」の理念の下、「やさしい未来都市 東広島」の実現に向け、温室効果ガスを実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明します。

令和4年3月7日

東広島市長 高垣廣徳